

新今宮駅(JR環状線)②

てんのじ村と飛田百番を目指して

新今宮駅(南海本線・高野線) 南霞町駅・今池駅(阪堺電車阪堺線)

動物園前駅(地下鉄御堂筋線・堺筋線)

「大阪あそび歩マップ集」
その2 No.088

JR新今宮駅

駅南東に、かつての「てんのじ村」や飛田新地があります。東改札口から出発しましょう。

①てんのじ村記念碑

直木賞作家・難波利三氏の小説で有名になった「てんのじ村」の顕彰碑です。てんのじ村は道頓堀・千日前・新世界などの演芸街に近かったため、最盛期には300人以上もの芸人が集住していたといわれています。戦災にあわなかったため、戦後も古い長屋が残っていましたが、阪神高速松原線の建設(1970年開通)や再開発によって取り壊され、当時の面影はほとんど残っていません。記念碑は上方を代表する漫才台本作家・秋田實の筆で、台座部分には「大入」と描かれています。



②ココローム

NPO法人「こえとことばとこころの部屋」が運営するインフォショップカフェ。平成19年(2007)に新世界フェスティバルゲートから現在の場所に移転。アートを軸に置きながらさまざまな人と人が出会いつながる場として

営業しています。ちやぶ台でおいしい手作りおうちごはんを食べることができ、ライブやイベントなども行われます。

③カマン!メディアセンター

NPO法人「こえとことばとこころの部屋」が運営。まちの人が主体的に参加、運営するイベントを、ほぼ毎日運営中。



④猫塚

明治34年(1901)に室上小三郎という人物が建てたもので、三味線の胴に貼る猫の供養のため、遊芸関係者の抛金でできたものです。碑は三味線の胴の形をしています。

⑤飛田百番

かつて遊郭であった建物を生かし、万博の年(1970)に開かれた大衆料亭。建物は大正時代に建てられたもので、おおむね遊郭として使われていた当時の建築の原形をとどめています。遊郭であった時代から、一見さんお断りの高級遊郭だったといえます。国の登録有形文化財です。

⑥飛田東映

昭和31年(1956)に東宝系映画館として開館。往年の任侠映画が数多く上映され、若き日の高倉健や鶴田浩二がスクリーンの中を所狭しと暴れまわっています。

⑦オーエス劇場

昭和29年(1954)に浪曲劇場としてスタート。テレビに押されて人気低迷すると、テレビとは違ったおもしろさを打ち出す大衆演劇の劇場として再スタートしました。現在では日本全国各地から大衆演劇ファンが訪れています。

阪堺今池駅

